

平成 27 年度長崎大学がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習

実習生：吉田 拓哉

実習先：安中外科・脳神経外科医院

実習期間：平成 27 年 8 月 17 日（月）～ 8 月 21 日（金）

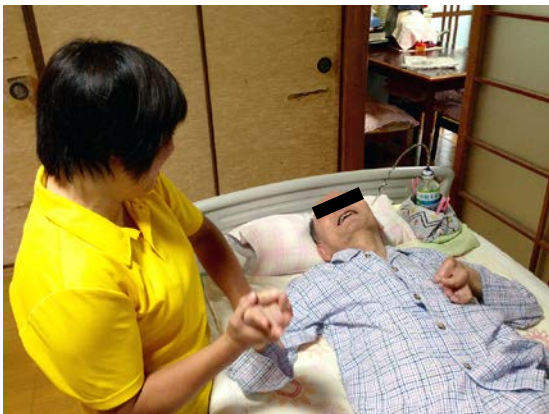
実習生感想：

今回、がんプロ養成基盤推進プラン在宅・地域医療実習として、訪問看護・訪問診療に同行させていただいたのでご報告いたします。

期間は 8 月 17 日～21 日の 5 日間、午前中は訪問看護（17・18 日は、訪問看護ステーション YOU、19 日は長崎訪問看護ステーション YOU 東長崎、20・21 日は、長崎市医師会訪問看護事業所）の看護師さんに同行させていただき、午後からは安中外科・脳神経外科医院の安中正和院長先生の訪問診療に同行させていただきました。

訪問看護では、私が小児外科を専攻としていることをご配慮いただき、私がまさに大学病院で診療にあたっている患儿たちを訪問させていただきました。そして、それは大変私にとっては衝撃的なものでした。普段病院で接する際には、自宅での生活など漠然と話を聞くことがあっても、どのような生活を送っているかは毛頭想像にすぎません。しかし、実際にご自宅に上がって、その居住空間や周囲の環境など、その子が毎日を過ごしている「生活」を知ることにより、考えに大きく幅が持てたと思います。勿論、これまでも、その子の生活環境などを考慮して、ベストを目指した診療を行ってきたつもりでしたが、生活状況や、患儿を育てるお母さんの苦労を直接垣間見ることで、今後はさらに、患儿の生活を考慮することでしょう。

また、成人の患者さんの訪問看護では、偶然でしたが、以前手術に関わったことのある患者さん宅への訪問もありました。頸髄損傷のため、16 年間寝たきりとなってしまった患者さん宅でした。以前入院していた時には、病院では全く聞いたこともなかった、奥様の 16 年間の介護の苦労話をお伺いすることもできました。ご自宅へ伺うため、患者さんもお家族も気持がオープンになるためか、普段病院では聞くことができないような雑談のような口調で本音を話されていました。患者さん方が病院で自分の訴えを言われていても、それは、当然かもしれないかもしれませんが、その本心の半分も出せていないのかもしれない。私たちが患者さんに接する上で、その患者さん方がどのように感じているか、どのように考えているか、これまで感じ取ろうとしていた以上に、もっと敏感になる必要があると感じました。



訪問診療では、安中先生ご自身の車に同乗させていただき、南は脇岬、東はかき道、西は福田方面までと幅広く飛び回っておられました。以前は滑石方面まで行かれていたとのことですが、そのテリトリーの広さには本当に驚きました。しかも、1日につき15~20件もの患者さん宅を訪問し、お話を聞いては診察されていくのですから、その多忙さは想像を超えるものでした。安中先生はご自身の医院では入院患者さんも診られており、訪問診療への道程でも、携帯電話にご自身の医院から着信が頻繁にあっていました。その都度、Bluetoothで受けた車のスピーカーに向かって指示されておりました。火曜日と金曜日、週に2回は脇岬まで訪問診療に行かれておりましたが、長崎市内の患者さんを周られた後、一番最後に訪問するのですから、脇岬にお住まいの患者さん宅に到着する頃には21時頃になることもあるそうでした。安中先生は、土曜日にも訪問診療を行われ、もちろん日曜・祭日や、連絡があれば夜中さえも駆けつけるのですから、まさにコンビニの店員を1人で請け負っている印象でした。思わず、「先生、疲弊しませんか?」とお聞きしましたが、「そう言われれば、きつい時はあるかもね」とのお返事でした。実際、夜中4時に連絡があり、脇岬まで訪問診療に行かれることもあるそうで、我々の勤務よりも過酷かもしれないと感じる一面でした。ですが、特に階段や坂が多いこの長崎では、患者さんの中には病院に行きたくても容易には行けない患者さんも多く、安中先生はまさに長崎の地域医療を支えている大切な先生だと感じました。



【往診に向かう安中先生】

5日間ではありましたが、非常に濃い実習をさせていただいたと思います。私は佐賀大学医学部卒業であり、学生の頃にも臨床実習の一環で、訪問看護や訪問診療に同行した経験がありました。しかし、今回の実習は、その頃とは視点も感じ方も全く異なりました。実際に自分が医師として勤務するようになった今では、患者さんやそのご家族に生じる問題点を、主治医として解決しなければなりません。今回の実習で感じたこと、今までは感じえず考えさせられたことを、今後の診療に役立たせられるよう日々精進したいと思います。

最後に、このような機会を与えてくださった芦澤先生、林先生、がんプロスタッフの方々、安中正和先生はじめ医院のスタッフの方々、訪問看護ステーションのスタッフ方、今回の訪問をご快諾いただいた患者様方に厚くお礼を申しあげまして結びとさせていただきます。



【実習報告会にて】